

令和6年度 年次報告書 概要

令和7年6月
人事院

I 新時代における公務人材マネジメントの実現に向けて～人事行政諮問会議～

人事行政諮問会議の最終提言のポイント

使命感を持って意欲的に働ける公務

- 「国家公務員行動規範」の策定と周知・啓発
 - ① 「国民を第一」に考えた行動
 - ② 「中立・公正」な立場での職務遂行
 - ③ 「専門性と根拠」に基づいた客観的判断

年次に縛られず実力本位で活躍できる公務

- 官民給与の比較対象となる企業規模の引上げ
- 政策の企画立案・調整等の職務に見合った外部労働市場も考慮した給与水準の設定
- 納得感と成長につながる評価の実効性向上とマネジメント力の養成
- 初任管理職の給与水準の引上げ/在級期間の廃止

働きやすく成長を実感できる公務

- 業務効率化と長時間労働の改善
- 短時間勤務の拡大と裁量勤務の導入
- 資格取得の支援や兼業・副業の後押し
- 転勤する職員へのインセンティブの充実

多くの人から「選ばれる」公務

- オンライン試験(CBT)の導入
- 採用プロセスにおけるインターンシップの活用
- 地元志向のニーズに応える採用スキーム
- 公務の戦略的ブランディングの推進
- 公務内外の人材に魅力的な公務の実現

➡ 最終提言を受け止め、公務員人事管理の更なるアップグレードを講じていく

Ⅱ 令和6年度における人事院の主な取組

多様な人材が集まり、一人一人が高い志を持って職務を遂行できる魅力ある公務へ

多様で有為な人材の確保

採用手法の更なる見直し

- 一般職試験に教養区分を新設
- CBTの段階的導入

民間企業などからの多様な人材の積極的誘致

職員の成長支援と組織パフォーマンスの向上

自律的・主体的なキャリア形成支援

- キャリアコンサルタント資格の取得を支援する研修を開始

人事管理のデジタル化

- 人事管理業務に係るシステム化全体の将来設計を整理

Well-beingの実現に向けた環境整備

時代に即した働き方の推進

- 勤務間のインターバル確保の推進
- 兼業制度の見直し検討

職員のWell-beingの土台づくり

- 超過勤務の縮減
- ゼロ・ハラスメントの実現

適正な公務員給与の確保

給与制度のアップデート — 時代の要請に即した給与制度に転換 —

- 初任給を大幅に引上げ。管理職は職責重視の給与体系に刷新
- 地域手当を都道府県単位に広域化。通勤手当の上限を月15万円に引上げ

約30年ぶりとなる高水準のベースアップ — 民間給与の賃上げ状況を反映 —

- 初任給をはじめ若年層に特に重点を置きつつ、全職員について俸給表を引上げ改定
- ボーナスの引上げ(年間4.50月分→4.60月分)

第2部 「選ばれる」公務職場を目指した魅力向上・発信戦略 ～働く場としての公務のブランディング～

厳しい人材獲得競争の中で、優秀で志のある人材を確保し続ける必要

採用試験の見直し、働き方改革、給与制度のアップデート等を実施（魅力向上）
一方、仕事のやりがい、成長の機会など公務の魅力が十分に伝わっていない

魅力向上に加え「発信」の強化が必要 → 「公務のブランディング」を提案

公務のブランディングの枠組み

1. 公務職場の魅力の整理

競合相手と差別化可能な
公務の魅力の中核となる価値

- 「国」の立場で国民の安全・安心や生活の向上に貢献する唯一無二の価値

競合相手が
提供する価値

発信の工夫が一層必要な
競合相手も提供する価値

- 職員の成長や働き方、経済的利益に関する価値

公務内外の
人材が期待
する価値

公務職場が
提供できる
価値

2. 公務職場内への浸透による 魅力向上

一体的・整合的
に実施

3. 公務外への魅力発信の取組

1. 公務職場の魅力の整理 — 3つの価値 —

① 社会への貢献に関する価値

- 「国」としての視座の高さ
- 複雑な利害を調整する視野の広さ
- 社会をリードする影響力の大きさ
- 職場の使命感とプロ意識の高さ

② 職員の成長に関する価値

- 高度な課題解決力・調整力
- 責任の大きい仕事への挑戦

③ 働く環境や経済的利益に関する価値

- 柔軟な働き方や両立支援推進、処遇向上

2. 公務職場内への浸透による魅力向上

3つの価値の浸透に向けて

- MVV等を通じた価値の浸透
- スキル明確化等による成長実感
- 改善状況や目指す姿の積極的な発信

3. 公務外への魅力発信に向けた取組

社会全体への公務の価値の発信

- 広報、イベント等を通じた公務の価値発信

公務の人材確保施策の戦略的な実施

- 発信対象・内容・時期・方法の整理、見直し

- ✓ 公務のブランディングに関する府省横断チームの立上げ
- ✓ 一人一人が発信者として公務のブランディングを担う意識の醸成